



佐賀県立佐賀東高等学校

〒840-0016

佐賀市南佐賀三丁目11番15号

☎0952 (24) 0141 Fax0952 (25) 7040

e-mail:sagahigashikoukou@education.saga.jp

URL:http://www.education.saga.jp/hp/sagahigashikoukou/

使命に生きる

自主自律を尊ぶ

明朗清新を喜ぶ

令和元年度卒業証書授与式

3月1日(日)、本校体育館で卒業証書授与式が行われた。新型コロナウイルス感染症対策のため、在校生が参加しない、という形での式となった。卒業証書授与では、時間短縮のため、各クラスの担任による一人ひとりの呼名は行われたが卒業生は返事をせず立つという形で行われた。式の前には、見送ってくれる後輩の姿がないことへの寂しさを口にする卒業生の姿も見られたが、式の最後では、式歌「旅立ちの日に」や校歌を声高らかに歌い、3年間を過ごした学び舎を旅立った。

卒業生代表の後藤拓也さんは、答辞の中で在校生に向けて次のような言葉を残した。

東高は私たちの誇れる母校です。先輩たちから受け継ぎ、その上に私たちが積み上げてきた功績はもちろん、これから積み重ねられていく功績は、すべて東高生の誇りとなります。後輩の皆さん、1年はあっという間です。だからこそ、この東高での残りの日々を全力で送ってください。楽しんでください。そして、この東高をますます「誇れる母校」にしてください。



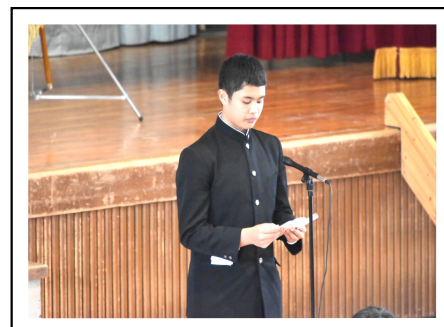
↑卒業生代表の後藤拓也さんによる答辞



←卒業生入場の様子



↑卒業卒業証書授与の様子



↑送辞を詠む松石生徒会長



←全員並んで挨拶をする1組

卒業生から後輩へのアドバイス

●「失敗したな〜」「こうしておけば良かった…」「こうしていたから良かった」ということ

- ・1年生の時から自分に適した勉強方法を見つけて、もっと点数を上げてたら良かったなと思いました。あと、積極的に話しかけて、もっと友だちを増やしておけば良かったです。
- ・3年間、部活動をしていると、学校生活は大変だけど楽しくなります。
- ・部活動に入っていたのが良かった。上下関係を学ぶことができたし、受験の時、面接で部活動のエピソードを言うことができた。
- ・早くから進路先を決めて対策するべきだったと思います。
- ・勉強していたら自分の進路が広がるから、絶対勉強していた方がいい！
- ・評定平均値をできるだけ高くしておけば良かった。テスト勉強は直前ではなく、1週間前からしておいた方がいい。本当に！定期考査の点数はしっかり取っておいた方がいい！！
- ・1年生の頃から高い評定を取っていたので、3年生で助かりました。
- ・今のうちに、一般常識やマナー、礼儀を覚えた方がいいと思います。いざ社会に出た時に苦労しないからです。また、語彙力を身につけておいた方が自分のためになると思います。
- ・部活動を最後まで続ければ良かった。
- ・時間を守ったりルールを守ったりすることは、自分の身を守ることであります。今のうちから正せば、1年後2年後の自分を助けてくれます。
- ・先輩後輩関係なく、仲良くしておけばよかった。
- ・学校は休まない！自分は2年生の時、何となく休んでしまい、その結果欠席日数の関係で推薦してもらえず、受験では本当に苦労した…。

●進路決定に向けた活動を振り返ってのアドバイス

- ・早めに進路を決めて、行けるだけオープンキャンパスに行った方がいいと思います。
- ・自分の将来のことなので、進路は慎重に真剣に選んだ方がいいです。私は何気なく選んだ大学の受験に行った時に、やる気のある他の受験生の姿を見て、自分が恥ずかしくなりました。「なんとなく」決めるのは絶対やめた方がいいです。
- ・面接練習は何度も何度もやった方がいい。先生によってアドバイスも違うので、いろんな先生に練習してもらった方がいい。
- ・部活動or ボランティア活動はしておいた方がいいです。
- ・先生からの指示を待つのではなく、先生に頼りっぱなしになるのではなく、自分で早めに動きましょ。その方がゆとりができるし、自分が何をすべきか分かっておくだけで、何事にも大きな差がでると思います。
- ・とにかくテスト勉強や課題などは頑張ってください。評定が低いと、受験したいと思ったところに行けなくなってしまうので、頑張りましょう。
- ・就職したい企業があったけれど、校内での推薦会議で成績が私より良い違う人が選ばれた。やっぱり、すべては評定なんだなと思った。だから、特にテストの点数は高い方がいい！。

★もう一つの“卒業式”《退寮式》★

卒業証書授与式の前夜である2月29日の夜、同窓会館にて《退寮式》が行われた。地元を離れて多くの部員と共同で生活をするという環境の中、助け合いながら一緒に過ごした仲間たちとの3年間の思い出を思い返しながら、退寮する部員たちは、最後の夕食を楽しんだ。

